

第32回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



農林水産大臣賞 図画2部 「ザク、ザク、ザク、早く食べたいなあ～」

山形市立南小学校5年 會田 次郎さん

平成20年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部

第32回 「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

全国審査における入賞者

○文部科学大臣賞

(作文 1 部) 金野 華奈 鶴岡市立羽黒第三小学校 3年

○農林水産大臣賞

(図画 2 部) 會田 次郎 山形市立南小学校 5年

○全国農業協同組合中央会会長賞

(作文 2 部) 高橋 理久 村山市立戸沢小学校 4年

○優秀賞

(作文 3 部) 佐藤 楓 鶴岡市立第五中学校 1年

(図画 2 部) 花山 伶奈 寒河江市立醍醐小学校 5年

(図画 3 部) 堀野 佑衣 山形市立第九中学校 3年

○学校奨励賞

鶴岡市立羽黒第三小学校

山形市立南小学校

作文部門

●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 濑川 隼矢 庄内町立余目第四小学校 3年
山形県農業協同組合中央会会長賞 後藤 怜 最上町立向町小学校 1年
優秀賞 渡部 寿彦 鶴岡市立斎小学校 1年
笠原妃乃奈 最上町立大堀小学校 1年
伊藤南奈美 鶴岡市立朝日小学校 1年
結城 諒 最上町立満沢小学校 2年
佐藤麻捺夏 鶴岡市立羽黒第二小学校 3年

図画部門

●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 佐藤 永一 尾花沢市立牛房野小学校 1年
山形県農業協同組合中央会会長賞 森谷 康平 山形市立出羽小学校 3年
優秀賞 三澤 悠花 尾花沢市立名木沢小学校 1年
鈴木 芹奈 鶴岡市立大泉小学校 2年
本間 智広 尾花沢市立鶴子小学校 2年
押野 尚道 鶴岡市立朝暘第二小学校 3年
吉田 周平 尾花沢市立尾花沢小学校 3年

●2部 (小4年～6年)

山形県知事賞 河野 美波 鶴岡市立栄小学校 5年
山形県農業協同組合中央会会長賞 上野 艦 鶴岡市立斎小学校 5年
優秀賞 五十嵐春奈 最上町立向町小学校 4年
阿部紗世子 最上町立月橋小学校 6年
菅 風沙 最上町立満沢小学校 6年
引地加奈恵 最上町立大堀小学校 6年
齋藤 央奈 山形大学附属小学校 6年

●2部 (小4年～6年)

山形県知事賞 花山 伶奈 寒河江市立醍醐小学校 5年
山形県農業協同組合中央会会長賞 伊藤 浩司 鶴岡市立朝日小学校 5年
優秀賞 森 謙太 尾花沢市立明徳小学校 4年
原田 紘 高畠町立屋代小学校 4年
菅野 静香 尾花沢市立寺内小学校 5年
杏澤 佑樹 山形市立第十小学校 6年
丸田 駿平 尾花沢市立玉野小学校 6年

●3部 (中1年～3年)

山形県知事賞 佐藤 楓 鶴岡市立第五中学校 1年
山形県農業協同組合中央会会長賞 山口 和華 天童市立第二中学校 3年
優秀賞 櫻井 祥太 山形市立第五中学校 1年
山口 愛実 南陽市立吉野中学校 2年
久保 朝香 米沢市立第七中学校 2年
橋本明香里 山形市立第五中学校 2年
伊藤 香理 鶴岡市立朝日中学校 3年

●3部 (中1年～3年)

山形県知事賞 堀野 佑衣 山形市立第九中学校 3年
山形県農業協同組合中央会会長賞 垂石 杏 山形市立金井中学校 1年
優秀賞 羽角 葉 山形市立金井中学校 1年
島津 桃子 米沢市立第四中学校 2年
石井 志織 山形市立金井中学校 2年
橋本明香里 山形市立第五中学校 2年
中村 実那 山形市立第九中学校 3年

●学校奨励賞

最上町立向町小学校
鶴岡市立第五中学校

●学校奨励賞

寒河江市立醍醐小学校
山形市立金井中学校

ごあいさつ



山形県農業協同組合中央会

会長遠藤芳雄

「ごはん・お米とわたし」作文・图画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心から御礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

三十二回目を迎えた今回は、県内の小・中学校から作文三八五点、图画九三三点もの力作を応募いただき、全国コンクールにおいて、作文一部で文部科学大臣賞、图画二部で農林水産大臣賞、作文二部で全国農業協同組合中央会会長賞を受賞するという素晴らしい成績を修めました。また、県コンクールにおいても、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞をはじめ各賞を選考いただいたところです。これは、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

このコンクールは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業と、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらい、稲作農業を通して人々とのコミュニケーションをはかつていただきために実施しております。

今回の皆さん的作品は、身近な人とのかかわり合いの中で、自分の生活をしつかりとみつめ、家族への思いやり、家族や友達と食べるごはんのおいしさ・うれしさを感じたことが伝わってくるものでした。また、ごはん食や実体験を通して、稲作農業の果たす役割の大きさを知ったことなども、素直に表現されていました。

これからも、日常生活の中にある本当の豊かさに目を向けてください。そして、それらを支えている多くの人たちの苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを忘れないでください。

また、家族を大切にする心、自然を大切にする心、生き物すべての命を大切にする心を育み、いつまでも持ち続けてください。さて、日本が経済大国といわれるようになつて久しいですが、豊かな生活の中で、多くの大切なものを失いつつあります。食生活の面からみると食料自給率は今年、ついに四〇%を割り込み、三九%となりました。これは先進国の中では最低の水準にあり、いざという時、食べ物が足りなくなるという状況が心配されます。

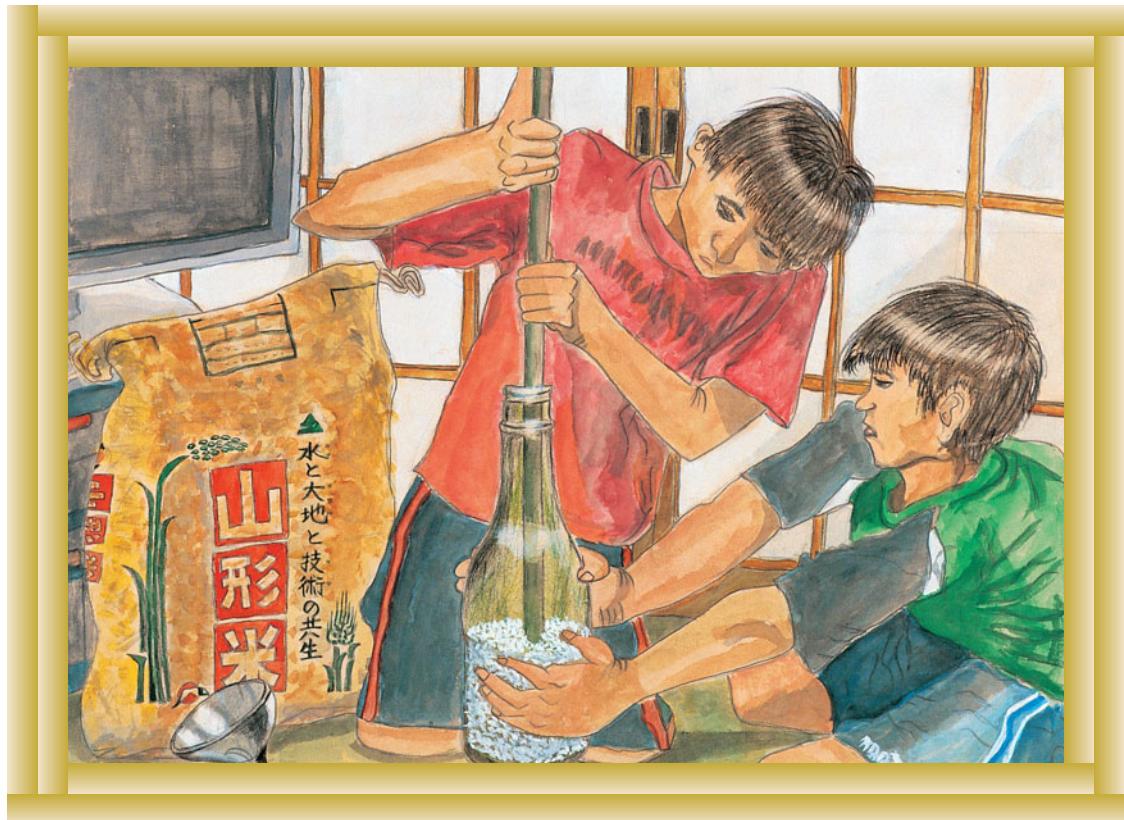
また、朝食を食べないなど、特に若い世代を中心とした食習慣の乱れや栄養バランスの偏りが見受けられ、これらは生活習慣病の増大や、命を軽視した事件の多発化につながり、大きな社会問題となつております。

こうした中、私たちJAグループは、引き続きお米を中心とした日本型食生活の推進と、小・中学校をはじめとする地域の特徴を生かした食農教育に取り組んでまいります。

また、日本人の主食である米をはじめとして、国内で生産できる食料は国内で生産することを基本に、皆様に安全・安心な農畜産物を提供できるよう、より一層の努力をしてまいります。

最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

農林水産大臣賞



「ザク、ザク、ザク、
早く食べたいなあ～」

山形市立南小学校五年

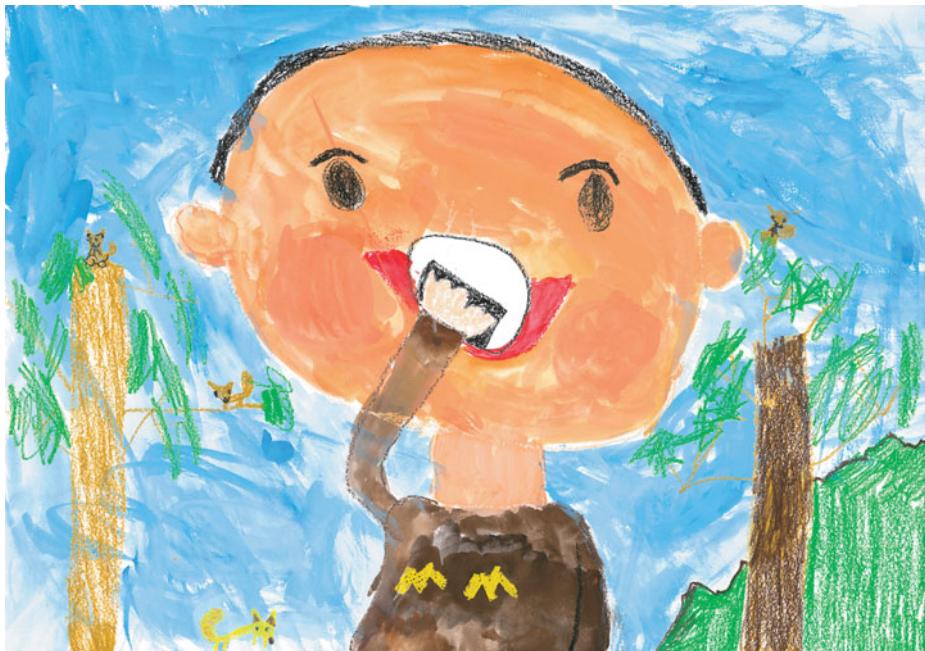
會 田 次 郎

■山形県知事賞■

「やまでおにぎり」

尾花沢市立牛房野小学校一年

佐藤永一



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「大きく育てぼくの米」

山形市立出羽小学校三年

森谷康平



■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「田植えが上手にできるように…」

寒河江市立醍醐小学校五年

花山伶奈

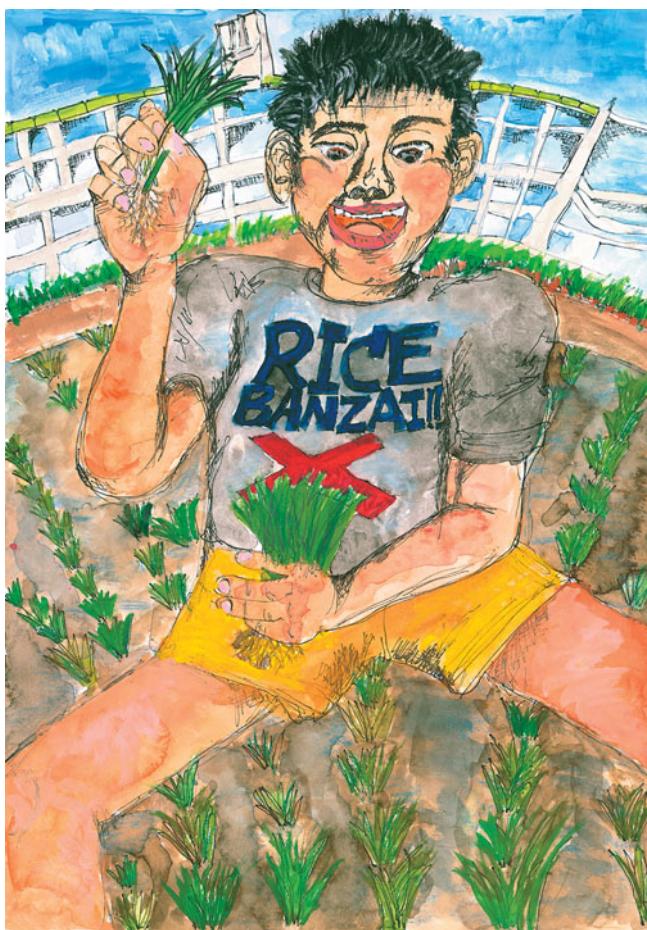


■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「RICE BANZAI-X」

鶴岡市立朝日小学校五年

伊藤浩司



■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「実りへの願い」

山形市立第九中学校三年

堀野佑衣



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「田植え」

山形市立金井中学校一年

垂石杏



作文部門 入賞作品

文部科学大臣賞

「お父さんは一年生」

鶴岡市立羽黒第三小学校三年

金野華奈

「お父さん、真っ黒くて華奈どいいじょうぶだの。」

真っ黒く日やけしたお父さんに、お母さんが言いました。私もプールや外あそびで日やけしましたが、お父さんは私よりも黒く見えます。

お父さんは、今年の春からのうぎょうをしています。長くつとめた会社をやめて、おじいちゃんといつしょに仕ごとをしています。

今まで休みの日だけ、家の手つだいをしていましたが、今年からは毎日田んぼに出ています。たねまき、田うえ、しようどくなどしなければいけないことがたくさんあるそうです。そして、いつごろしたらいいのかもむずかしくて、おぼえるために手ちょうに書いたり、パソコンで調べたりしています。

私は今年、朝顔とほうせんかを育てています。毎日の水かけが大へんで、ときどきお母さんに手つだつてもらつたりしているのに、お父さんたちは一人で広い田んぼを見ているのだから、とても大へんだと思います。夏



のあつい日には、あせをたくさんかくので大きな水とうの水を全部のんできます。仕ごとがおわってからは、つめたいビールをとてもおいしそうにのんでいます。

お父さんが会社につとめている時は、ざんぎょうで会えないことが多かつたけれど、今は毎ばん家ぞく全員でごはんが食べられてうれしいです。お父さんも、「この時間が一番楽しみだ」と言っています。

しんせきの人からも、羽黒の米はおいしいと言われるそうです。私も家の米はとてもおいしいと思います。おじいちゃんたちが、がんばって作っているからだと思います。

お父さん、来年は二年生になるのだから、もっともっとおいしいお米を作つてね。

全国農業協同組合中央会会長賞

「お米でびっくり計画」

村山市立戸沢小学校四年

高 橋 理 久

ぼくのお姉ちゃんは、今年の春から秋田の大学に入つたので、一人でアパートにくらしています。ぼくは、けんか相手がいなくなつたので、ちよつときびしいです。五月のゴールデンウイークに、お父さんとお母さんとぼくで、お姉ちゃんの所に遊びに行くことにしました。いろいろなおみやげを持つて行くことにしました。そのいろいろな物とは、お母さんの作つたお料理とおかし、家でとれた野菜とお米、りんご酢などです。

それと、ぼくたちは、お姉ちゃんをおどろかそうと思って、内しよである物を持つて行く計画を立てました。それは、もち米ともちつき器を持つて行つて、つきたてのやわらかいおもちをお姉ちゃんに食べてもらうことです。ぼくは、そのことを思うとわくわくしたり、どきどきしたりして、秋田に行くのが楽しみでした。

いよいよ出発の日です。午後の二時に出発しました。お父さんとお母さんから、海のそばをずっと通つていくと聞いていたので、それも楽しみでした。

でも、あまりにも遠かつたので、ぼくはと中でねてしまい、ちよつとしか海を見られませんでした。着いたのは七時で、走行きよりは、なんと百五十キロメートルでした。ぼくは、村山と秋田の間は長いんだなあとthoughtした。

お姉ちゃんと久しぶりに会つて、ちよつときんちょう

しました。ぼくは、お姉ちゃんの部屋は小っちゃいんだ
など思い、ちよつとかわいそうになりました。

持つて行つたもちつき器をみたお姉ちゃんは、びっく
りしていました。そして、

「ちょうど食べたくなつていたんだ。わたしの気持ちが伝
わつたんだね。」

と、とてもうれしそうでした。

お米をといで、水につけました。そして、次の日の夜、
つきました。お米をふかしているとき、ほかほかの湯氣
がいっぱい出て、部屋中おいしそうなにおいがしました。
その後、もちつき器に入れて、スイッチを入れました。
ふかしたお米がつぶれて、だんだん丸くなつていくのが
おもしろかつたです。

つきあがつたおもちは、お母さんが、お姉ちゃんのす
きななつ豆もち、ぞうに、あんこもちにしてくれました。
四人で食べるおもちは、かくべつにおいしかつたです。

お姉ちゃんは、

「つきたてのおもちなんて一人のときはぜつ対食べられ
ないから、すごく感げき。うれしい。すごくおいしい。」
と、とてもよろこんでくれました。よろこんでいるお姉
ちゃんを見て、ぼくは、自分もうれしくなりました。
ぼくたちの計画は、大せいこうでした。



■山形県知事賞■

田んぼはいのちがいっぽい

庄内町立余目第四小学校三年 濑川 隼矢

この前、ぼくはお母さんに新聞にお米の花の記事がのつてあるよと言わされました。いねのほが出そろい、お米の花がさき始めたと言うこと。そのお米の花は午前九時ごろからわずか一時間ほどしかさいていないと言うことを聞きました。

ぼくはさつそくこのお米の花を見たいと思い、カメラを持って出かけてみました。この前まで葉っぱばかりだつたいねにしつかりほが出ていました。でもすでに花が開いた後のおしべがはみ出ている物ばかりで、その日は見つけることができませんでした。

いつも見なれている田んぼだけど虫や小さな生き物たちの生きる場もあるし、ここでとれたお米でぼくたちも生きているんだとわかり、田んぼは命が一杯つまつたとても大事な所なんだと思いました。今年もおいしいお米がたくさんできるといいなと思います。

二、三日後また行つてみました。朝から暑くてあせが流れました。お米の花はなかなか見つかりませんでした。そうしているうちに、いねの根元でミニズがウロウロ、アメンボがスイスイ泳いでいるのを見つけました。さら

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

おくいそめ

最上町立向町小学校一年 後藤 怜

七がつ十四かに、おくいそめをしました。四がつ十かにうまれたおとうとのおいわいです。のがしらのじじとばば、たちこうじのじいちゃんとばあちゃんもきてくれました。

くわのきでつくつたはしで、ばあちゃんがれおに、さかなとせきはんをたべさせました。くちにいれられて、れおはびつくりしたよななかおをしてだまりました。そして、なんだこれ、というようなふしぎなかおをして、べろをペろペろさせました。

みんなが、れおに、

「おめでとう。」

と、いいました。ぼくは、

「おつきくなつたね、れお。」

といつて、あたまをなでなでしました。そしたら、れお

が、にこつとしました。

じじが、おくいそめは、いつしようたべものに、こまらないようにするおいわいだとおしゃれてくれました。あかちゃんのときのことは、わすれちゃつたけど、ぼくもみんなにおいわいされたんだろうとおもいました。

おくいそめがおわつたとき、ままが、

「これが、れんの。これが、れきの。」

と、ぼくたちはしを、だいじそうにみせてくれました。ぱぱが、くわのきのかわをけずつてつくつてくれたときいて、びつくりしました。すこしまがつているけどすぐくかっこよかったです。

ぼくは、うれしくなつて、ごはんをもりもりたべて、大きくなるぞとおもいました。

■山形県知事賞■

力のもとはご飯

鶴岡市立栄小学校五年 河野 美波

「農家の人たちが手間ひまかけて米を育ててるからね。おいしさもかくべつだんね。」と話してくれた。

私の家は、庄内平野の中にありまわりには田んぼが広がっている。私の家にも田んぼがある。でも、農業する人がいなくなつて、二十年以上前から親せきにお願いしている。委託というのだそうだ。おばあちゃんは若いころ朝、夕と田んぼに出て農作業をしていたので、大変さがよくわかつているのだろう。

「ほんとで大変だんよ。だから稲を刈つて収かくするどうれしぐでの。そのお米をいただくのだから、いいこといっぱいだぞ。」

とおばあちゃんはいつも言う。

うちで食べているお米は、親せきの家で作つている「はえぬき」だ。それを三十キロずつ精米して食べている。私の大会の日の朝ごはんは、おにぎりだ。一口大の塩おにぎりをお母さんが口に入ってくれる。これで試合をせいといっぱいがんばれる。

お兄ちゃん達も相撲の大会の日は、おにぎりを持つて教えてくれた。おばあちゃんが、「ご飯は体をつくるきそなんだ。力もいっぱい出るしね。お米をたくさん食べると強くなるんだよ。」と教えてくれた。

「がんばれよ。自分の力を出し切つてこいよ。」

と、おばあちゃんやお母さんが心をこめてにぎったおにぎりだ。そのおにぎりを食べて力を出してくる。

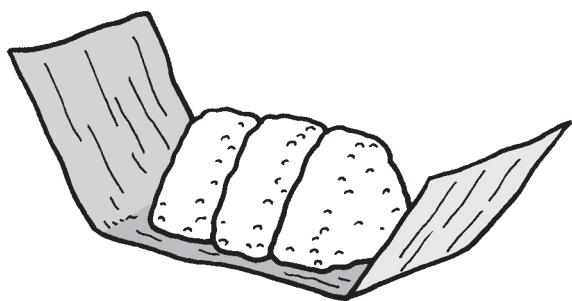
やつぱり、ごはんは力のもとなんだなあとと思う。お米つてすごいな。

そう思つてあらためて田んぼを眺める。田んぼつてきれいだ。風にさわさわゆれる稻がきれいだ。よく見ると、先に穂がついていた。これから大きくなるんだろうな。もうすぐ秋。収かくの季節だ。おじさんが笑顔で持つてきてくれる新米が楽しみだ。

今日もまた、大きなどんぶりで、お兄ちゃんが、おいしそうにご飯を食べている。

「精米したお米三十キロが、あつという間に、なくなるんだよ。」

とお母さんの声が聞こえる。うちのみんなの力のもと、ご飯。私も食べるぞー!!。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

ぼくと米とのかかわり

鶴岡市立斎小学校五年 上野 艦

五年生になつて社会の教科書を見ていたら、お父さんの職場がのつていました。ぼくの会つたことのあるお姉さんの写真もあつてびっくりしました。

ぼくのお父さんは、山形県農業生産技術試験場庄内支場で働いています。小さい頃、お父さんの仕事はカメムシを育てるこだと思つていました。本当は、イネを病気や害虫から守る仕事をしています。病気になつたり、害虫がついた米は、全めつしたり、色が黒くなつたりします。そうならないための研究をしているのです。

教科書を見て、米の「はえぬき」がお父さんの職場で開発されたことを知りました。農家の人が育てやすいようを作られたそうです。

その「はえぬき」を作っているのがぼくのおじいさんです。

おじいさんは、毎朝四時過ぎに起きて毎朝田んぼに岡かけます。いつも大変だな、と思います。米づくりは、春から秋の収穫まで休むひまがありません。田植えが終わっても、水の管理やじよ草、農薬をまく仕事などたくさんあります。

前、おじいさんの田んぼに行つた時、いろいろな虫を見つけました。そして、虫のなかにもイネにとつていい虫（益虫）と悪い虫（害虫）がいることをお父さんから聞きました。イネの穂を食べてしまう虫と、その虫を食べる虫です。ぼくは、農薬を使うといい虫も死んでしまふんじゃないか心配になりましたが、いい虫のはたらきをできるだけ生かしながら、弱い農薬を適度に使つてすることを教えてもらい、ほつとしました。

お米を出荷する時は、厳しい検査があるので、病気や害虫で被害を受けてしまうと売り物にはならないそうです。

おじいさんが朝早くから田んぼの見回りに出かけるのは、病気や害虫を少しでも早く見つけて、防ごうとしているためなんだ、いいお米を作るためなんだな、とあらためて思いました。

ぼくは、毎日おじいさんのお米をお母さんにたいても
らつて食べています。ぼくは、パンよりごはんが大好き
です。特に好きなのがうめぼしおにぎりです。

「ごはんを食べるとパワーが出ます。

「いつも元気なのは、ごはんをたくさん食べるからだね。」
とお母さんはよく言います。

お父さんの職場の人たちが開発したお米をおじいさん
が作って、ぼくが食べているって、なんかいいな、と思
います。

ぼくもいつか、米づくりにかかる仕事をしてみたい
と思います。



■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「じはんとお米とわたし」

鶴岡市立第五中学校一年 佐藤 楓

僕の家は農家をしています。お米、野菜と色々作つていますが、やはりメインはお米です。僕の家では祖父と祖母が農家をして父と母は外で仕事をしていて、忙しい時期は、父が手伝いをしています。

お米は、土合わせから始まり、種まき、育苗、田植え、稲刈り、と進んでいきますがそれだけでなく、その間にも水の調整や草刈りや消毒があります。それも一回ではなく、二～三回はします。僕も中学生になり、手伝いをする機会がふえました。種まき、田植え、消毒。どれをとってもとても大変です。祖父母が、朝早くから夜遅くまで、一生懸命頑張っている姿を見て、僕は少しでも手伝いをしたいと思います。そうやって、家族みんなで作った僕の家のお米は、とてもおいしく、日本一ではないかと思っています。

我が家は、みんなご飯が大好きです。おかげがなくてもご飯さえあればみな元気です。農家でない家は、野菜やお米まで買わなければならないのでしようが我が家は、お米を作っているので、いくらでも食べられます。僕の家は八人家族で一日ご飯を一升二合炊きます。お母さんが

「今からこんなに食べてこれからどうするなー。」

と、言っています。なぜなら僕は四人兄弟だからです。僕が高校生になり、弟が中学生になると、もつともつと食べるこことでしょう。お米を作らず買うとなると、大変だなあと思います。だからできるだけ僕も手伝いをしお米だけは、作り続けて行けたらと思います。

八人家族の我が家は台所のテーブルでご飯を食べます。決して広い台所ではないのですが、テーブルを二個並べ、イスを置きます。それでも全員が座れないで一回に分けて食べたり、テーブルから離れて食べたりと、とてもにぎやかで、忙しい食卓です。

「台所にはテレビを置かない」「食事中はテレビを見ないで食べると良い」と言われていますが、八人が台所に入るとテレビどころではありません。テレビよりにぎやか

かで、その日の出来事があつちこつちで飛びかっていて、

誰が誰に話しているのかわからぬくらいです。とても楽しい食事風景です。食事は静かに落ち着いて、という家庭から見たら行儀が悪いと思われるかもしませんが、

我が家では一番のコミュニケーションがとれる場所だと思っています。

僕の母は、

「おかげがねー」

と言うと、おにぎりを作ってくれます。僕達の好みが違うので、おにぎりの中味はいろいろです。

「なぜかおにぎりにするご飯いっぱい食べるなやのー」と言っています。それにお天気の良い時などは、おにぎりを持って、外に食べに出かけます。とてもおいしく感じます。

僕達も大きくなつたので台所に立つ機会が多くなりました。おにぎりや、チャーハン、ご飯の上に魚をのせた海鮮丼などを作り、家族に出す事もあります。

最近はお米を作る人も減つてきているようですが、日本のお米はとてもおいしい、世界一の主食だと思う僕は、頑張つて農業を続けて行きたいと思います。農業は自然

をも相手にしなければならないので大変だと思います。

人間は、自然には勝てませんから。それをも頭に入れ学んで行くのだと思います。それにも負けずできたお米は、やっぱりおいしいです。おいしくなければいけないと思います。

こんなにおいしいお米を無駄にせず、大事に食べてほしいと思います。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

田んぼの風景

天童市立第二中学校三年 山口 和華

私は今十四歳。そして、私の祖父が朝鮮から引きあげてきたのも十四歳だつたと聞いた。伯母に聞いた話である。引き上げ船に乗る時一人一つずつの小さな袋しか持てこむことができなかつた。十四歳の祖父は、父と病気の母と、第二人、小さな妹と少しのお金と、袋に入るだけの米を持つて船に乗つた。病氣の母はおいていつたらいいと朝鮮の人々に言われたそうだ。祖父は、弟と母親と三人で、そして父親は、三男と妹と三人で手を縛り合つた。死ぬ時は、みんな一緒、日本に帰るのも家族一緒。母が動けなくなつたら、背おつても日本に帰ろうと思つたそうだ。

引きあげ船はなんと広島に着いた。広島は原爆の焼け野原だつた。そこで見た戦争。何もない、建物も緑も。戦争はまだ続いていたのだ。何もない町で何かを燃やし

ている人たちがいた。そこでお金渡し、朝鮮から持ってきた米でごはんをたいてもらつた。おにぎりにして、親子六人と、そこにいた人たちみんなで食べたという。六人一緒に帰つてこれた喜びだつたのか、お祝いだつたのか、生きていくぞという決意だつたのか、祖父は死んでしまつたのでもう聞くことはできない。

信じられない様な話だが、祖父の本当の話なのだ。大切な手荷物一つの中味は米だつたのだ。

日本に帰つて来て、祖父は上ノ山農業高校に入り、農業を学んだ。そして、米とりんごを作つた。小さい時、私は祖父の田んぼで田植えや稻刈りを手伝つたことがあつた。だが、何を話したのか覚えていない。田んぼの中でにこにこ笑つてゐる祖父の顔しか思い出せない。

祖父にとつて一番下の孫の私は、怒られた覚えはない。ただ、自分で茶わんにごはんを盛り、残した時、「自分で食べられる量だけ盛るんだよ。」

と言われたことがある。なんでそんな事言うんだろうと思つていた。

多くを語る人ではなかつた。戦争のことなど知らなかつた。もつといろいろなことを教えてほしかつた。

話を聞いたかつた。ただ、私は田んぼの風景が大好きだ。田植え前の、水をはつた田んぼ。風で空を映した水がキラキラ動く。まっすぐ植えられた小さな苗は、なんだかかわいい。どんどん伸びて、緑のじゅうたんもきれいだ。

暑い夏の暑い日に咲く、小さくて白い花。そして秋、空が高く、黄金の田んぼ。祖父は私に言葉で教えることは少なかつたが、風景は伝えてくれた。祖父の心は田んぼと共ににある。

今の地球上でも南アフリカやアフガニスタンなどは食べる物がない。生きるだけで精一杯、そんな国もある。

こんな文章を見つけた。

『私たち人間は、みんなこの地球に生まれ、同じように平和を求め続けてきました。不公平な世の中で、恵まれている私たちが出来ること…それは食べ物を絶対に、粗末にしたり食べ残したりしないことです。小さなことかもしれないけど、小さな一歩が大きな夢の実現につながるということをだれもが信じています。』

おいしいごはんがあるのはあたり前だと思っていた。が、それはちがう。田んぼ、米を作ってくれた人、天気。そして、ごはんをたいてくれた人。私に言葉ではなく、

田んぼの風景を伝えてくれた祖父。全てに感謝し、これからは手を合わせ、「いただきます。」と食卓につきたい。

日本人は昔から米を大切にしてきた。日本人の主食はごはんである。命がけで持ち帰つて来た六つの命と米。こんな時代があつた。忘れてはいけないとと思う。生きていくためには、米をつくることが必要だつた祖父の心。この秋も確実に受け継がれている。



作文部門審査講評

池 友 子

第三十二回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作文

部門には、県内八三校より三八五点の作品応募がありました。

全国コンクールでは、鶴岡市立羽黒第三小学校三年、金野華奈さんの「お父さんは一年生」が文部科学大臣賞を受賞されました。また、村山市立戸沢小学校四年、高橋理久さんの「お米でびっくり計画」が全国農業協同組合中央会会長賞を受賞されました。さらに、全国学校奨励賞には、鶴岡市立羽黒第三小学校が受賞されました。本当におめでとうございます。みなさんの、日頃の努力によるものと心より敬意を表します。

以下、県審査の結果、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会

会長賞を受賞された作品について紹介します。

第一部（小学校一年生から三年生まで）

○「田んぼはいのちがいっぱい」（庄内町立余目第四小学校三年・瀬川隼矢・山形県知事賞）は、「お米の花を見たい」と出かけた田んぼで、ミニズ、アメンボ、そして「今まさに脱皮しようとしているイナゴ」を見つけました。脱皮の様子をよく見つめて書いています。丁寧な描写で表現された場面が目に浮かびます。「田んぼは命が一杯つまつたとても大事な所」という言葉に強い実感がこもった作品です。

○「おくいそめ」（最上町立向町小学校一年・後藤怜・山形県農業協同組合中央会会長賞）は、弟のおくいそめをとおして、節目の行事にふれ「食べる」との意味をしつかり考えています。「じじが、おくいそめはいつしようたべものにこまらないようにするおいわいだと教えてくれました。」など、米作りと、子どもの成長を願う家族の思いとがつながっていることを感じ取っている怜さんの姿が見えてきます。

第二部（小学校四年生から六年生まで）

○「力のもとはご飯」（鶴岡市立栄小学校五年・河野美波・山形県知事賞）は、家族のごはんに対する気持ちが「」でうまく表現されています。「おいしいごはんを食べることは幸せだ」と素直に伝わってくる文章です。ごはんの魅力を再確認したことと、田んぼの景色を見る目が変わり、米作りに対する思いの変容が心の成長として感

じられます。

○「ぼくとお米のかかわり」（鶴岡市立斎小学校五年・上野艦・山形県農業協同組合中央会会長賞）病気や害虫から稻を守る父と、「はえぬき」を育てる祖父の仕事ぶりを見つめ、食を支える米作りに関わる仕事の意味を見いだしています。祖父から父へ受け継がれてきた米作りの思いが、今度は艦君に引き継がれていることを実感します。

第三部（中学校一年生から三年生まで）

○「ごはんとお米とわたし」（鶴岡市立鶴岡第五中学校一年・佐藤楓・山形県知事賞）は、全国コンクールで優秀賞を受賞しました。米作りに励む祖父母の姿をていねいに描写しています。家族を思って農業に挑んでいこうという気持ちが力強く心に残る作品です。

○「田んぼの風景」（天童市立第一中学校三年・山口和華・山形県農業協同組合中央会会長賞）戦時中、ほんの少しの米に支えられ、生きのびた祖父。多くを語らないが、ひたすら米作りに励む祖父の生き方から見えてきたことや、四季折々の田んぼの姿から教えられたことを常体のすつきりした文章で表現豊かに綴っています。

県学校奨励賞は、最上町立向町小学校と鶴岡市立第五中学校が賞されました。両校とも先生方の御支援により、すばらしい作品をお寄せいただきました。

今年度寄せられた作品には、実際の体験や人とのかかわり合いから人の思いや自分の生活をしつかりと見つめた、作品が多くありました。みんなの作品から、家族のつながり、温かい人間関係に支えられてこそ、豊かな表現が生まれるものだと実感しました。私たち日本人には欠かせない「ごはん・お米」。この「食」の文化がやさしい人を育て、温かい人ととのつながり、強い絆を深めているのだということを教えられたような気がします。

来年も、「ごはん・お米」から、家族や仲間とのつながり、日本・自分の将来を見つめる作品が生まれることを期待しています。

図画部門審査講評

修

山形市立第十中学校校長 相 田

第三十二回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール图画

部門には、県内一二二校より九三三点の作品応募がありました。その中から優れた作品を選び出す県審査を行いましたので、結果を紹介します。

第一部（小学校一年生から三年生）

○「やまでおにぎり」

（尾花沢市立牛房野小学校一年・佐藤永一・山形県知事賞）

画面いっぱいにおいしそうにおにぎりをほうばる顔がとても印象的です。画面全体から優しい雰囲気が流れて「おいしい！」という声が聞こえてきそうです。遠くの方から永一君を見ている動物たちもうらやましそうに見ているような感じがします。一年生らしいタッチと伸び伸びとした表現が見る人を引きつける作品になっています。きっとご飯が大好きなのでしょうね。山の上で食べるおにぎりは格別においしかったことでしょう。

○「大きく育てぼくの米」

（山形市立出羽小学校三年・森谷康平・山形県農業協同組合中央会会長賞）

仲間と一緒に楽しそうに田植えをしている様子が生き生きと描かれています。一人ひとりの動きをしつかりとらえて丁寧に描き込んでいます。表情が豊かで四人の息づかいや声まで聞こえそうです。秋の収穫を思い描きながらみんなが一生懸命田植えをしたので、きっとたくさんのお米が収穫できただでしょ。田んぼの泥の色使いも美しく、光の当たる部分と暗い部分の違いや手足についた泥の乾き具合も色の変化でたくみに表現されています。何より中心の人物の笑顔から目が離せなくなるような作品です。

第二部（小学校四年生から六年生）

○「田植えが上手にできるように！」

（寒河江市立醍醐小学校五年・花山伶奈・山形県知事賞）

水の色と山の色、空と日差しの色から田植えの季節の生命感が伝わってきます。友だちと協力して田んぼに苗を植えるしをつけた田植え定規のかたちがよく描かれていて、絵の具の水加減や混色を工夫した色使いも丁寧です。きっと稻の健やかな成長を願いながら作業をしているのでしょう。落ち着いた雰囲気の画面から稻作の大変さと収穫への期待感があふれています。

○「R I C E B A N Z A I X」

（鶴岡市立朝日小学校五年・伊藤浩司・山形県農業協同組合中央会会長賞）

大事な稻を手にして田植えをする喜びを画面いっぱいに表現しました。楽しさあふれる表情や両手の描写から稻作への作者のたっぷりした愛情を感じます。色のにじみを効果的に使い、黒ペンで力強さを加えています。人物を中心配し、植えた苗を画面上部から放射的に広げた構図が、いのちの躍動を表してくれます。

第三部（中学校一年生から三年生）

○「実りへの願い」

（山形市立第九中学校三年・堀野佑衣・山形県知事賞）

正確なデッサンと幅広い色彩で雰囲気ある画面をつくり出しています。柔らかな日差しの中で稻を手にする中心の人物の表情から題名にあるような願いが伝わってきます。衣服の細部や微妙な陰影、季節の空気やおい、水音や人の声なども伝わってきます。

○「田植え」

（山形市立金井中学校一年・垂石杏・山形県農業協同組合中央会会長賞）

地域で行われている田植えの様子を描いています。遠景には現代的な家屋が建っています。田植機も身近な物としてとらえて描かれています。田に水が張つてある様子も工夫して描かれ、温んできた水の感触も伝わってきます。地域の人々が集つて田植えを行つている様子からその場の活気さえ感じられます。

県学校奨励賞は、寒河江市立醍醐小学校と山形市立金井中学校が受賞しました。また、全国では山形市立南小学校五年・會田次郎くんの「ザク、ザク、ザク、早く食べたいなあ」が農林水産大臣賞を受賞されました。また、全国学校奨励賞に山形市立南小学校が選ばれました。おめでとうございます。

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門の作品の特徴は、自然や家庭の中で人々が生き生きと活動している場面がほとんどであるという点です。そこに描かれている人々は表情豊かで温かい雰囲気にあふれ、健康的で生きる力に満ちています。体験を通して得た実感をもとに、工夫して表現できる点が、優れた作品を生み出します。今後も他の人と違う個性的な表現を目指せるような指導がなされることをさらに期待したいものです。

「ジ」はん・お米とわたし」作文・図画コンクール

第21回～第32回

入賞一覽

第26回	第25回	第24回	第23回	第22回	第21回
<p>●県知事賞 今井 大輔(鶴岡市) 佐藤 世和(米沢市) 小野寺千賀(朝日村)</p> <p>●県中央会長賞 水谷ひらり(山形市) 結城 智裕(最上町) 渡辺真理子(高畠町)</p> <p>●優秀賞 小野寺陽奈(朝日村) 大場たくや(最上町) 鈴木 瑞奈(高畠町) 後藤なつみ(高畠町) 志藤 貴俊(三川町) 大場 麻由(最上町) 大場 剛(最上町) 和田真由子(鶴岡市) 石山 樹里(最上町) 清野 郁(朝日村) 佐藤 和磨(山形市) 清野 優(朝日村) 清野 舞(朝日村) 遠藤 晃毅(朝日村) 井上 寛子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 岸 詩音(最上町) 難波 裕人(鶴岡市) 佐藤 望(天童市)</p> <p>●県中央会長賞 森 麻美(柳引町) 佐藤 香織(山形市) 清野 舞(朝日村)</p> <p>●優秀賞 今井 大輔(鶴岡市) 三浦 幸希(鶴岡市) 酒井 健太(山形市) 佐藤 大輝(鶴岡市) 佐藤 真生子(最上町) 齋藤 那千(朝日村) 阿部 貴敏(最上町) 小野 翔(米沢市) 安達 美有(朝日村) 佐藤 若佳(最上町) 菅原 香織(朝日村) 大滝まどか(朝日村) 菅原 泰隆(鶴岡市) 荒井 郁(山形市) 小林千恵子(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>●県知事賞 阿部 将敏(最上町) 橋本 菜穂(最上町) 伊藤 明希(朝日村)</p> <p>●県中央会長賞 渡邊 雅正(酒田市) 阿部 奈美(鶴岡市) 斎藤芽衣子(朝日村)</p> <p>●優秀賞 白幡 梓(鶴岡市) 丸山 里佳(柳引町) 田中 麻衣(山形市) 斎藤 陽一(山形市) 高橋 真莉(最上町) 渡辺 大(南陽市) 押切 成美(最上町) 加藤 梓(鶴岡市) 安達 千李(三川町) 古川 悠(高畠町) 遠藤 俊一(天童市) 大滝まどか(朝日村) 清和 千秋(柳引町) 瀧口 夏子(天童市) 庄司 千鶴(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 本間 明音(鶴岡市) 渡部 大地(朝日村) 有賀真紀子(朝日村)</p> <p>●県中央会長賞 黒坂 雄志(最上町) 竹田実穂子(米沢市) 斎藤芽衣子(朝日村)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕(最上町) 岸 詩音(最上町) 高橋 隆浩(高畠町) 稲葉 彰(天童市) 近野健三郎(高畠町) 阿部 晴美(最上町) 小野寺美夏(朝日村) 大谷部汐李(飯豊町) 原田 久美(最上町) 田中絵理加(最上町) 結城 重則(東根市) 高橋 愛実(山形市) 佐藤 牧(朝日村) 原田 裕智(高畠町) 木本いづみ(東根市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 三浦 春菜(鶴岡市) 黒坂 星兒(最上町) 萩原菜ツ美(高畠町)</p> <p>●県中央会長賞 大石 美恵(最上町) 菅 喜美広(最上町) 森谷さとり(天童市)</p> <p>●優秀賞 阿部 裕子(尾花沢市) 菅原 南(鶴岡市) 高橋 隆浩(高畠町) 加藤 梓(鶴岡市) 藤畑 康宏(最上町) 佐藤 秀樹(最上町) 奥山 恵里(最上町) 石山 崇人(最上町) 阿部 留佳(朝日町) 菅 晃菜(最上町) 島津 智子(高畠町) 佐藤真寿美(高畠町) 阿部 哲(南陽市) 伊藤 千尋(朝日村) 小川 結(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 高畠町立第一中学校</p>	<p>●県知事賞 加藤 梓(鶴岡市) 加賀 知世(尾花沢市) 村山 直美(天童市)</p> <p>●県中央会長賞 橋本 菜穂(最上町) 原田 久美(最上町) 小座間裕子(天童市)</p> <p>●優秀賞 岸 健一朗(最上町) 山田 寿広(最上町) 大石 美恵(最上町) 後藤 明美(高畠町) 近野 健二(高畠町) 大場 哲也(最上町) 石山 雄洋(最上町) 石山満理奈(最上町) 佐藤 康徳(米沢市) 斎藤真貴子(朝日村) 氏居 生良(山形市) 前田 恵美(山形市) 中嶋 桃子(山形市) 伊藤 千優(天童市) 五十嵐小夜子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 高畠町立屋代小学校 天童市立第二中学校</p>
<p>●県知事賞 清野 史拓(朝日村) 小林 由佳(山形市) 高島 香織(山形市)</p> <p>●県中央会長賞 武田 翼(尾花沢市) 須田 雄飛(鶴岡市) 小松 恵梨(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 瑞平(尾花沢市) 佐藤 暢啓(寒河江市) 国分 健太(尾花沢市) 工藤 大周(西川町) 佐藤 秀太(寒河江市) 五十嵐 隼(朝日村) 土屋 起史(尾花沢市) 安達 美咲(高畠町) 倉金 侑香(尾花沢市) 永沢 都(尾花沢市) 田村 里奈(山形市) 村上 美紀(山形市) 須貝 恵美(山形市) 本田 裕子(山形市) 長岡亜由美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 半田さやか(山形市) 菅野 健也(尾花沢市) 長嶌 納理(山形市)</p> <p>●県中央会長賞 菅 友絵(最上町) 須田 雄飛(鶴岡市) 小野麻里子(尾花沢市) 斎藤 利恵(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 凌(寒河江市) 岸 英里香(最上町) 小林 育実(最上町) 佐藤 拓実(鶴岡市) 丹野 泰長(山形市) 須田 雄飛(鶴岡市) 片岡 勇人(最上町) 佐藤かおり(山辺町) 大久保 康(藤島町) 福田紗矢佳(最上町) 高島 香織(山形市) 鈴木 綾(米沢市) 小野友加奈(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南山形小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 熊谷 朋美(尾花沢市) 渡辺 麻美(尾花沢市) 佐藤 瑠子(山形市)</p> <p>●県中央会長賞 須田 雄飛(鶴岡市) 小野麻里子(尾花沢市) 長岡 和美(山形市)</p> <p>●優秀賞 原田 初美(尾花沢市) 吉田 龍一(大石田町) 結城 弘斗(最上町) 佐藤 成美(尾花沢市) 丹野 泰長(山形市) 須田 雄飛(鶴岡市) 片岡 勇人(最上町) 佐藤かおり(山辺町) 大久保 康(藤島町) 福田紗矢佳(最上町) 高島 香織(山形市) 鈴木 綾(米沢市) 小野友加奈(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立寒河江中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 五十嵐祐大(鶴岡市) 菅野 瞳(尾花沢市) 武田 彩子(山形市)</p> <p>●県中央会長賞 西塚 真治(尾花沢市) 今野 里紗(鶴岡市) 長岡 和美(山形市)</p> <p>●優秀賞 原田 初美(尾花沢市) 吉田 龍一(大石田町) 結城 弘斗(最上町) 佐藤 成美(尾花沢市) 丹野 泰長(山形市) 土屋 範晃(尾花沢市) 五十嵐祐大(鶴岡市) 佐藤かおり(山辺町) 大久保 康(藤島町) 岸 貴大(尾花沢市) 矢口 亜紀(山形市) 井上 康(上山市) 友寄 歩惟(上山市) 鈴木 裕子(山形市) 西村 愛子(山形市) 青柳 悠香(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立栄小学校 上山市立北中学校</p>	<p>●県知事賞 本間 裕紀(尾花沢市) 飛渡 沙織(大石田町) 菊池 佳子(山形市)</p> <p>●県中央会長賞 遠藤 美佳(尾花沢市) 今野 里紗(鶴岡市) 長尾 藍(山形市)</p> <p>●優秀賞 小林 由典(白鷹町) 落合 和也(尾花沢市) 木村 和人(鶴岡市) 佐藤 綾子(尾花沢市) 船山 達郎(白鷹町) 土屋 範晃(尾花沢市) 五十嵐祐大(鶴岡市) 村井 法子(尾花沢市) 西尾 円華(尾花沢市) 岸 貴大(尾花沢市) 矢口 亜紀(山形市) 井上 康(上山市) 友寄 歩惟(上山市) 鈴木 裕子(山形市) 西村 愛子(山形市) 青柳 悠香(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立栄小学校 上山市立北中学校</p>	<p>●県知事賞 渡邊 克也(最上町) 有路 沙織(尾花沢市) 菊池 佳子(山形市)</p> <p>●県中央会長賞 大山 和(尾花沢市) 高橋 雄太(尾花沢市) 会田 恵里(山形市)</p> <p>●優秀賞 須藤 賢東(山形市) 古瀬 友香(尾花沢市) 伊藤 敏彦(尾花沢市) 岡野 浩美(最上町) 加地華南子(高畠町) 花輪みゆき(天童市) 笛原可奈子(尾花沢市) 五十嵐隆介(尾花沢市) 古瀬智佳子(尾花沢市) 武田ゆかり(尾花沢市) 高橋 栄(山形市) 栗原 美穂(山形市) 阿部 誠司(山形市) 丹 奈帆子(山形市) 寺崎 久世(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立第五中学校</p>

第32回	第31回	第30回	第29回	第28回	第27回
<p>●県知事賞 瀬川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 怜(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市)</p> <p>●優秀賞 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 諒(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 引地加奈恵(最上町) 齋藤 央奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 愛実(南陽市) 久保 朝香(米沢市) 橋本明香里(山形市) 伊藤 香理(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校</p>	<p>●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清士(米沢市) 大道寺 澄(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 俊也(鶴岡市) 情野 雪海(高畠町) 佐藤華奈(鶴岡市) 金野 華奈(鶴岡市) 斎藤 蓮奈(鶴岡市) 渡部 実佳(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 斎藤 央奈(山形市) 遠藤 拓実(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 祐佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 那須友賀子(山形市) 後藤 萌(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校</p>	<p>●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 剛(高畠町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)</p> <p>●優秀賞 渡部 由夢(高畠町) 阿部 理沙(羽黒町) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 斎藤 蓮奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高畠町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)</p> <p>●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 酒井 悅(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 佐藤 希(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 貴之(柳引町) 斎藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石田町) 上野由香里(朝日村) 難波 和希(朝日村) 山木 理央(高畠町) 杏澤 真佑(最上町) 橋本 大来(最上町) 大浦 沙織(高畠町) 斎藤 那千(朝日村) 御橋夏津子(鶴岡市) 武田 奈緒(鶴岡市) 貝田 理沙(山形市) 清野 郁(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>●県知事賞 平 理紗子(高畠町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 雅生(最上町) 守岡 雄朗(鶴岡市) 工藤 瑞穂(東根市)</p> <p>●優秀賞 石山 加奈(最上町) 菅 風沙(最上町) 伊藤 匠平(最上町) 渋谷 生帆(鶴岡市) 清野 真希(鶴岡市) 今井 大輔(鶴岡市) 菅井美香子(村山市) 五十嵐由香(鶴岡市) 大池 譲子(米沢市) 阿達 大和(最上町) 稻垣茉里香(長井市) 土方 花重(鶴岡市) 南齋 宏駿(米沢市) 貝田 理沙(山形市) 宮崎加奈子(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 伊藤佐久磨(朝日村) 小野寺寛貴(鶴岡市) 菅原 香織(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 瞳美(朝日村) 本間 稚菜(鶴岡市) 安孫子 郁(天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香(高畠町) 阿部亜紗子(最上町) 大貫 秀平(最上町) 渋野 史拓(朝日村) 佐藤 拓夢(鶴岡市) 岸 はづき(最上町) 渋井 彩希(山形市) 二戸 浩太(最上町) 阿部 貴敏(最上町) 秋野 寛斎(鶴岡市) 松田 恵(南陽市) 川崎 成也(南陽市) 清野 郁(朝日村) 中里恵里香(朝日村) 難波 和宏(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>
<p>●県知事賞 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市)</p> <p>●優秀賞 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紘(高畠町) 菅野 静香(尾花沢市) 杏澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 葉(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立醍醐小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 曾田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高畠町) 小黒 拓真(高畠町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 丸田 駿平(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 拓也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校</p>	<p>●県知事賞 曾田 次郎(山形市) 小野寺百萬(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)</p> <p>●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笛原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 瞳姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 薫(山形市) 神田 涼真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 茉純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 笠原 鍊(最上町) 難波 サ英(朝日村) 小野紗由季(山形市)</p> <p>●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉金 卓美(尾花沢市) 柴崎 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 莊司 留加(尾花沢市) 斎藤 千佳(朝日村) 鈴木 結(藤島町) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 吉関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 伊藤 薫(山形市) 小玉 愛(上山市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 笹原 瑞紀(尾花沢市) 乙坂ひかり(温海町) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 蛸井 葉月(鶴岡市) 難波 紗矢(朝日村) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 翼(最上町) 高野 陽希(最上町) 木村さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 佐藤真理絵(温海町) 小内 将弘(尾花沢市) 斎藤 千佳(朝日村) 鈴木 結(藤島町) 國分 雅哉(尾花沢市) 須田 琳子(鶴岡市) 吉田 真優美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 莊司 留加(尾花沢市) 伊藤 祐太(尾花沢市) 村上 美紀(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成(鶴岡市) 須田 雄飛(鶴岡市) 武田亜沙美(山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 茉菜(尾花沢市) 村岡 孝一(尾花沢市) 木村さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 佐藤 真理絵(温海町) 渡辺 大平(尾花沢市) 小内 将弘(尾花沢市) 斎藤 千佳(朝日村) 鈴木 結(藤島町) 古瀬 裕真(尾花沢市) 阿部 貴文(鶴岡市) 吉川 知美(山形市) 須貝 恵美(山形市) 高島 香織(山形市) 椎名 俊一(山形市) 鈴木 聖美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>

第32回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：385点
図画：933点 合計 1,318点

区分	第1部	第2部	第3部	計
作文部門	44点	116点	225点	385点
図画部門	488点	418点	27点	933点

■審査

- (1) 県予選審査期日(作文・図画部門合同で開催)
平成19年10月22日(月)
- (2) 全国コンクールの結果
文部科学大臣賞(作文1部 1名)
農林水産大臣賞(図画2部 1名)
全国農業協同組合中央会長賞(作文2部 1名)
優秀賞3名(作文部門1名、図画部門2名)
学校奨励賞2校
- (3) 県審査会期日(作文・図画部門合同で開催)
平成20年1月16日(水)

(4) 入選作品数

山形県知事賞	作文3点、図画3点
山形県農業協同組合中央会長賞	作文3点、図画3点
優秀賞	作文15点、図画15点
学校奨励賞	作文2校、図画2校

■審査員

作文部門(5名)

審査委員長	池田 友子(山形県教育庁義務教育課 指導主事)
	樋口 潤一(山形市立第七小学校 教諭)
	栗原 直子(天童市立第三中学校 教諭)
	羽柴 麻美(東根市立第一中学校 教諭)
	小沼裕佳理(山形大学附属小学校 教諭)

図画部門(4名)

審査委員長	相田 修(山形市立第十中学校 校長)
	高内 啓子(山形市立東小学校 教諭)
	大内 孔司(山形市立蔵王第二小学校 教諭)
	笹原 聰(山形県教育庁村山教育事務所 指導主事)

■表彰式

平成20年2月2日(土)

山形市「オーヌマホテル」

年度	部門	第1部	第2部	第3部	合計
4 (第17回)	作文 図画	212 982	350 767	135 32	697 1,781
5 (第18回)	作文 図画	210 1,276	359 964	217 54	786 2,294
6 (第19回)	作文 図画	167 1,164	330 820	179 53	676 2,037
7 (第20回)	作文 図画	220 781	300 647	138 23	658 1,451
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	116 418	225 27	385 933

●第32回「ごはん・お米とわたし」作文・图画コンクール募集要領●

1. 趣旨

このコンクールは、お米・ごはん食、稻作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稻作農業全般と、お米・ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらうとともに、次世代の子供たちに稻作農業が果たす多面的な働きとお米・ごはん食の重要性、人々とのコミュニケーション作りをはかるために実施します。

また、全国段階のコンクールと並行し、同一趣旨で実施します。

2. 「作文・图画の課題」「応募資格」「応募規格(枚数・大きさ)」「応募規則」

全国段階の募集要領を適用します。

【課題】(作文・图画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。
盲学校、聾学校および養護学校の小学部、中学部。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙2枚)
2部 小学校4年生～6年生
(400字詰市販原稿用紙3枚)
3部 中学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙4枚)

●图画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
2部 小学校4年生～6年生
3部 中学校1年生～3年生
B3判(36.4センチ×51.5センチ)相当の市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

【応募規則】

- 課題にそった作品を対象とします。
- 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- ひとりで1部門に2点以上は応募できません。
- 图画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表を必ず添付してください。
- 作品には、1点ごとにつきの事項を記入した応募票をつけてください。(下に見本)
つける位置は最後のページの裏面、图画は裏面中央とします。
①作品の題名 ④学校所在地(郵便番号・電話番号)
②氏名・性別 ⑤本人住所(郵便番号・電話番号)
③学校名・学年・組 ⑥JA名(農協名)
- 大臣賞およびJA全中会長入賞作品はJA全中にて1年間保管し、県知事賞・JA山形中央会会長賞作品は、1年間協同の杜JA研修所に展示しますが、

これ以外の作品は返却します。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会に帰属します。

- (8) 本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報は、承諾なく第3者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

3. 締切日

平成19年10月5日(金)(必着)

4. 入賞発表

全国発表 平成19年12月3日
本県発表 平成20年1月18日

5. 賞

全国審査の全国表彰のほか、本県審査により次の表彰を行います。

●山形県知事賞

両部門各部ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から1万円相当の図書券)

●山形県農業協同組合中央会会長賞

両部門各部ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から5千円相当の図書券)

●優秀賞

両部門各部ごとに5名 計30名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から3千円相当の図書券)

●学校奨励賞

両部門ごとに2校 計4校
(賞状と山形県農業協同組合中央会から2万円相当の図書券)

6. 審査員

県教育庁、小・中学校教諭、JA山形中央会

7. 応募先

- 県内の各JAを受付窓口とします。
- 県段階は次に問合わせください。

〒990-0042

山形市七日町三丁目1-16

山形県農業協同組合中央会

(JA山形中央会)

農業農政部

「作文・图画コンクール」係

TEL 023-634-8114

FAX 023-633-1754

8. 全国段階との関連

- 県段階で予備審査を行い、各部門ごと数点を全国に推薦します。
- 全国審査終了後、全国から返送された作品を含め、本県の本審査を行い、県段階の優秀作品を決定します。

作品の課題			
ふりがな 氏名	性別 男・女		
ふりがな 学校名	立	学校	年組
ふりがな 学校所在地	〒	TEL	
ふりがな 本人住所	〒	TEL	
J(A) (農協名)			

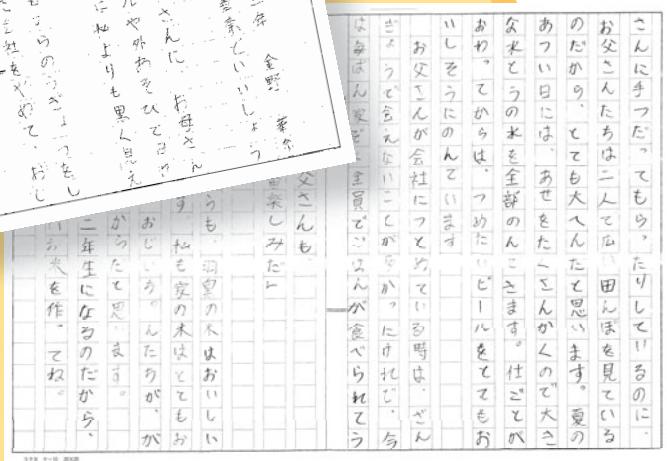
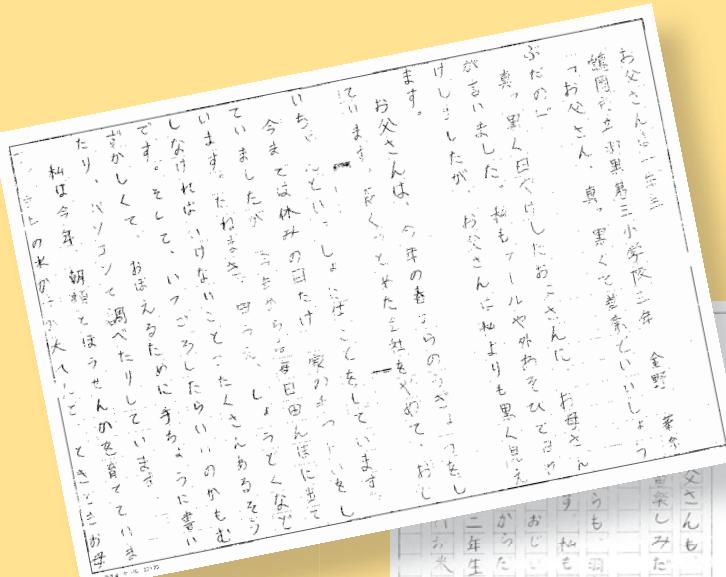
(注) 太い線で囲んだ部分は必ず記入して下さい。ふりがなも必ず記入して下さい。

文部科学大臣賞

作文1部

「お父さんは一年生」

鶴岡市立羽黒第三小学校3年
金野 華奈さん



全国農業協同組合中央会会長賞 作文2部

「お米でびっくり計画」

村山市立戸沢小学校4年
高橋 理久さん

